

## 2010 年度 小委員会活動成果報告

(2011 年 1 月 28 日作成)

小委員会名	基礎構造系振動小委員会	主 査 名：飯場正紀 就任年月：2009 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 振動運営委員会	委員長名：中島正愛 主 査 名：福和伸夫
設 置 期 間	2009 年 4 月 ～ 2013 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建物と地盤の動的相互作用（建物周期や減衰定数および建物への入力地震動）が建物・基礎の地震時応答に与える影響を明確にすることを目的とする。</li> <li>・2010 日本建築学会大会 PD（地盤震動小委員会との共催）に向けた準備、資料作成と発表</li> <li>・相互作用ワークショップの内容検討（相互作用を取り入れた簡易な計算法、設計例、計算例の見直し）と資料作成・発表</li> <li>・基礎構造の 2 次設計に向けた検討（基礎構造運営委員会・杭基礎の耐震設計小委員会との連携）</li> <li>・次年度からの小委員会の活動内容の検討</li> </ul>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	主査：飯場正紀（建築研究所） 幹事：田守伸一郎（信州大）、護雅史（名古屋大） 委員：新井洋（建築研究所）、泉洋輔（呉高専）、木村匠（清水建設）、古山田耕司（鹿島建設）、田村修次（京都大）、中井正一（千葉大）、永野正行（東京理科大）、藤森健史（大林組）、船原英樹（大成建設）、宮本裕司（大阪大）、柳下文雄（東電設計）、吉澤睦博（竹中工務店）	
設置 WG (WG 名：目的)		
2010 年度予算	380,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回（年度内計画を含む）
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1. ワークショップ「建物と地盤の動的相互作用の簡易計算法」 『同名資料』 参加者数 73 名
大会研究集会	1. PD：兵庫県南部地震から 15 年 - 建物への入力地震動はどこまで解明されたか（地盤震動小委員会と共同） 『構造部門（振動）パネルディスカッション資料：同上』 参加者数 360 名
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. パネルディスカッションについては、当初の目標を達した。 2. ワークショップについては、当初の目標を達した。参加者の数が事前の予想を超え、会員の関心の高さが確認された。
委員会活動の問題点・課題	1. ワークショップの内容検討や資料作成に時間を費やし、その他の議論が十分に出来なかった。 2. 遠方の委員が多く、全員が揃わなかったり、旅費については委員に負担をかけている。委員会の開催頻度が少なくなっている。